

厚生労働省健康局健康課予防接種室

林 修一郎 室長 殿

2021 年 4 月 26 日

2021 年 4 月 22 日の貴室と弊社の面談において、予防接種室から弊社に対し、以下の前提条件に基づいて 2022 年の 4 価 HPV ワクチンの日本向け供給確保を要請頂きました。

前提条件

1. 積極的勧奨再開の時期の目安は 2021 年 10 月とする。
2. 接種機会を逸した方へのキャッチアップ接種については 2022 年 4 月より前に開始されているものとする。
3. キャッチアップ接種の対象者は 5 学年分として推計する。

以上

MSD 株式会社

■■■■■■■■■■
■■■■■■■■■■

MSD 株式会社

殿

前略

平素よりワクチンの安定供給につきまして、格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

さて、2021年4月26日付け小職への書簡において、確認をご依頼いただいた件について、ご返答いたします。

2022年の4価HPVワクチンの日本向け供給については、以下のような点を踏まえた、可能な限りの数量の確保をお願いいたします。なお、9価ワクチンについても、2023年より前の早期に定期接種化する場合にも支障のないよう、供給量を可能な限り早期かつ十分に確保して頂きたいとお願いいたします。

- 供給量の見込みに当たっては、積極的勧奨・キャッチアップの実施ともに、ご示唆いただいた時期を含め、2022年度の始期以前に実施する場合にも支障のないよう検討いただきたいと考えます。
- 現時点で、キャッチアップの対象年齢を5学年として供給量を推計いただくことについて異論はございません。

草々

2021年5月7日

厚生労働省健康局健康課予防接種室長

林 修一郎